

居住人口の増加に資する事例

【兵庫県姫路市 人口：525,044人（令和4年） 計画期間：平成27年4月～令和2年3月】

成果

【中心市街地における居住人口】
基準値 8,797人（H25） → **10,801人（R1）**

事業概要

【駅南土地区画整理事業】

都市基盤施設の整備改善と宅地の利用増進

事業区域内に大規模商業施設（13,007㎡）がオープンするなど、都市基盤整備が進み、居住地としての魅力が向上したことで民間事業者によるマンションの建設が進み、居住人口は依然として増加傾向にある。

【活用した支援措置】

・社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）（国土交通省）（平成27年度～令和元年度）

【キャストイ21イベントゾーン整備事業】

商業施設、ホテル、交流施設、専門学校などの整備

中心市街地のコアゾーンに複数の用途の異なる施設を整備したことにより、日常生活、雇用、通学のための利便性が向上し、居住人口の増加に寄与。

【活用した支援措置】

・特定民間中心市街地経済活力向上事業計画の経済産業大臣認定（経済産業省）など（平成27年度ほか）

▼ 整備が進んだ中心市街地



▲ 整備されたシネマコンプレックスを核とした商業施設

取組のポイント

・駅南土地区画整理事業のほか、姫路駅周辺土地区画整理事業、大手前通り再整備事業やキャストイ21コアゾーン整備事業等により、都市環境が整備され、街なか居住の魅力が向上し、民間事業者によるマンション建設も相次いだことから、目標値を大幅に上回る居住者数の増加となった。

【姫路市概要】 中心市街地区域 約210ha

